

東証プライム 4631

DIC株式会社

2022年度第1四半期決算説明資料

2022年5月



FTSE Blossom
Japan



S&P/JPX
カーボン
エフィシエント
指数

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**
Powered by the S&P Global CSA

MSCI



MSCI Japan ESG
Select Leaders Index

MSCI



MSCI Japan Empowering
Women Index (WIN)



DIC株式会社

ハイライト

1 Qの振り返り

売上高

2,510億円

前年同期比 +**31.9%**

営業利益

117億円

前年同期比 Δ **16.1%**

- 堅調な出荷を維持しつつ、全てのセグメントで価格対応に取り組んだ結果、大幅な増収。また、カラー & ディスプレイセグメントにおいて、前第1四半期は連結対象外であったC&E顔料事業（旧ドイツBASF社のColors & Effects顔料事業）が増収幅を押し上げた。高付加価値製品である電気・電子、自動車向け材料や顔料製品群が堅調に推移した一方、食品包装分野では中国のロックダウン影響によりパッケージ用インキの出荷が一時的に停滞。
- パッケージング & グラフィックやファンクショナルプロダクトの一部製品群において、原料コスト増加の製品価格への転嫁が遅れ、減益。C&E顔料事業は、統合後の物流問題に起因した出荷遅延が改善し黒字となった。

2022年の見通し

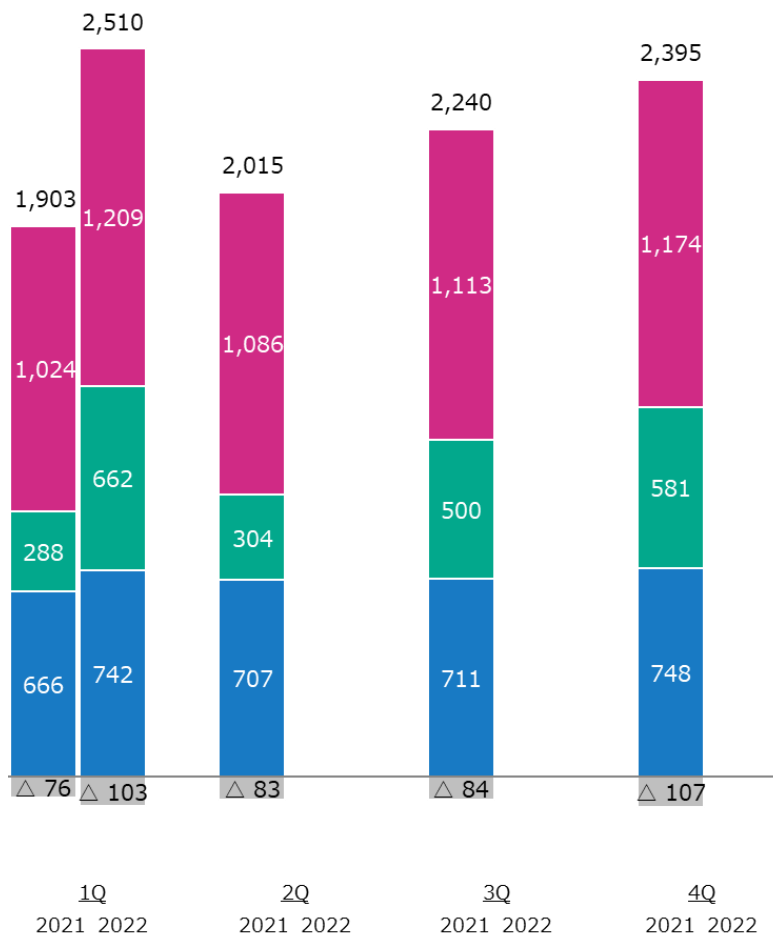
**売上高のみ
上方修正**

- 原料コスト増加への継続的な価格対応により、売上高を1兆400億円に上方修正
- 営業利益は540億円の見通しを据え置き

当社グループの決算期は、海外子会社・国内会社ともに1月1日から12月31日までの12ヶ月を連結対象期間としています。当期は、2022年1月1日から3月31日までの3ヶ月間を連結対象期間として記載しています。

セグメント別四半期業績推移

売上高 (億円)

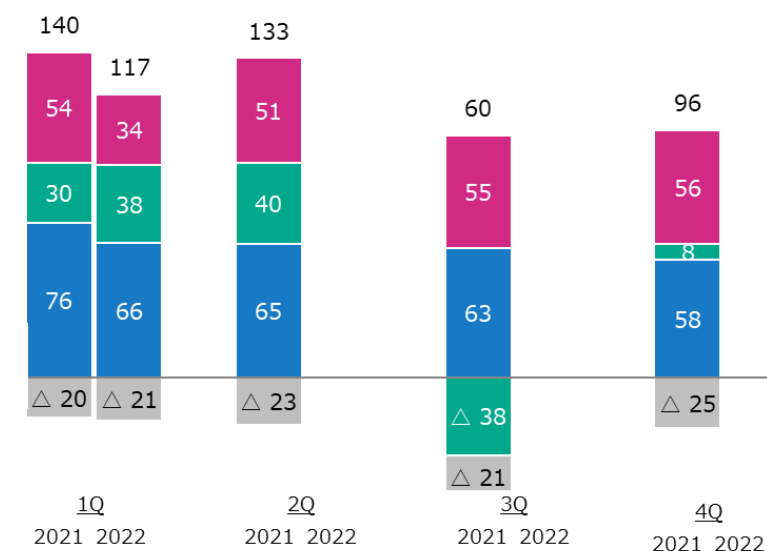


営業利益 (億円)

通期の見通し (540億円) に対する進捗率

	1Q	2Q	3Q	4Q
2022 (%)	21.7	-	-	-
2021 (%)	29.1	56.9	69.3	89.4

- パッケージング&グラフィック
- カラー&ディスプレイ
- ファンクショナルプロダクツ
- その他、全社・消去



連結損益計算書

(億円)	2021 1Q	2022 1Q	増 減	増減比	現地通貨ベース 増減比
売上高	1,903	2,510	607	+ 31.9%	+ 27.7%
売上原価	△ 1,450	△ 2,000	△ 550		
販売費及び一般管理費	△ 313	△ 393	△ 80		
営業利益	140	117	△ 22	△ 16.1%	△ 13.3%
営業利益率	7.3%	4.7%	-		
金融収支	△ 2	△ 4	△ 2		
持分法投資損益	2	2	△ 1		
為替差損益	4	8	4		
その他	4	1	△ 3		
経常利益	148	124	△ 24	△ 16.2%	-
特別利益	8	-	△ 8		
特別損失	△ 17	△ 4	13		
税前利益	139	120	△ 19		
法人税等	△ 29	△ 42	△ 13		
四半期純利益	110	78	△ 32		
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 8	△ 4	4		
親会社株主に帰属する四半期純利益	102	74	△ 28	△ 27.4%	-
EBITDA*1	214	233	19	+ 8.8%	-

特別損益の内訳	2021 1Q	2022 1Q
特別利益		
関係会社株式及び出資金売却益	8	-
特別損失		
固定資産処分損	△ 5	△ 3
リストラ関連退職損失	△ 0	△ 1
買収関連費用*2	△ 12	-

*2C&E買収関連

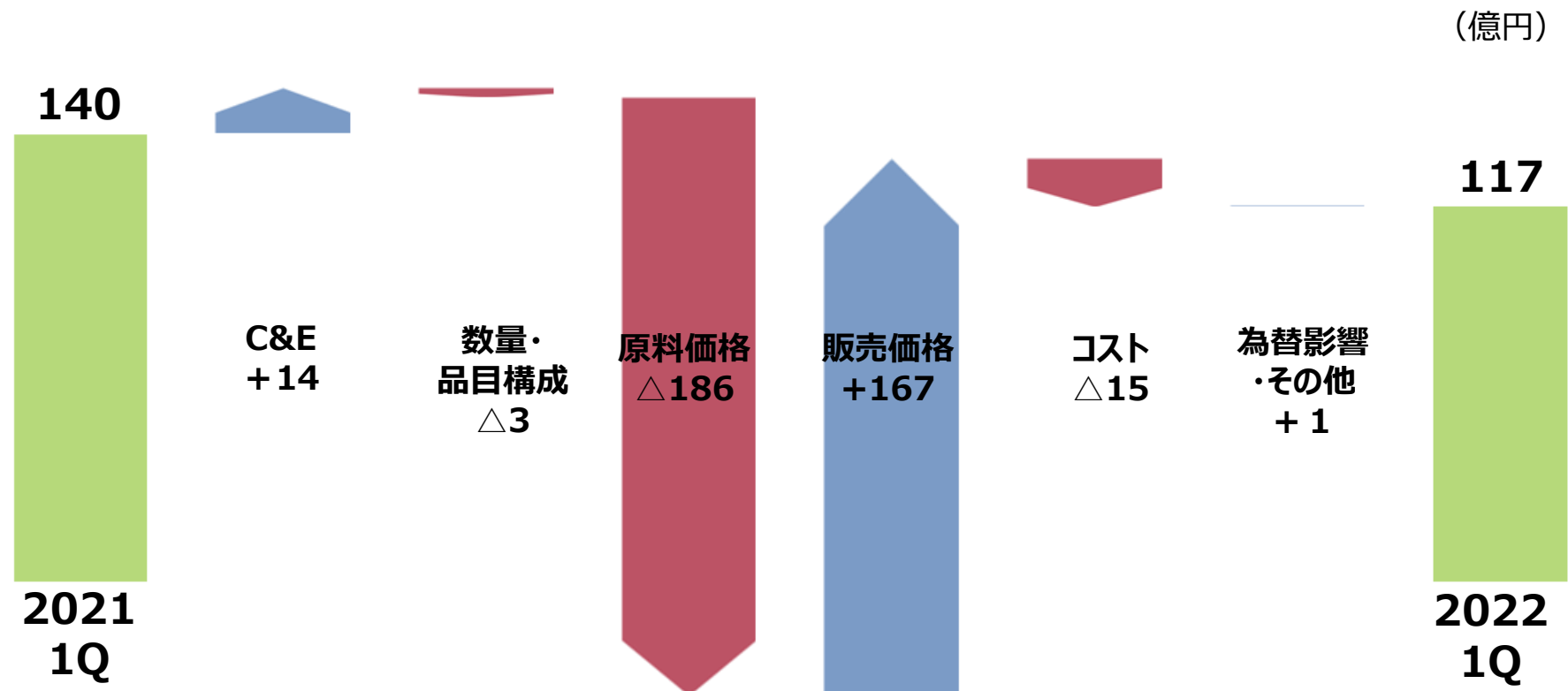
■ 平均レート

	2021 1Q	2022 1Q
USD/円	106.17	117.03
EUR/円	127.88	131.32

*1EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額

営業利益増減要因

- C&E顔料事業は、出荷遅延が改善し販売が好調に推移した結果、黒字となった
- コロナからの急速な回復があった2021年1Qとの比較では数量は減少したものの、高付加価値製品の出荷が堅調に推移し営業利益減少への影響は軽微であった
- 原料コストの増加や運賃及びエネルギーコストの増加に対する価格対応を進めたものの、転嫁が追いつかず減益となった



財務体質

(億円)	2021 期末	2022 1Q末	増減
ネット有利子負債	3,460	3,970	511
自己資本	3,459	3,668	209
ネットD/ELレシオ *1	1.0倍	1.1倍	
(ネットD/CLレシオ *2)	(47.6%)	(49.8%)	
自己資本比率	32.3%	29.5%	
1株当たり純資産 (円)	3,654.61	3,875.55	

! 会計基準変更に伴うリース債務のオンバランス化による増加 111億円

■ 期末レート

	2021 期末	2022 1Q末
USD/円	115.10	122.06

*1 ネットD/ELレシオ： ネット有利子負債／自己資本

*2 ネットD/CLレシオ： ネット有利子負債／（ネット有利子負債＋純資産）

セグメント別業績

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2021 1Q	2022 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021 1Q	2022 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021 1Q	2022 1Q
パッケージング&グラフィック	1,024	1,209	185	+ 18.0%	+ 15.7%	54	34	△ 20	△36.2%	△25.0%	5.3%	2.9%
日本	264	298	34	+ 12.9%	+ 12.9%	14	8	△ 6	△44.0%	△44.0%	5.1%	2.5%
米州・欧州	625	753	128	+ 20.5%	+ 18.7%	32	21	△ 11	△35.0%	△15.7%	5.2%	2.8%
アジア他	169	195	25	+ 15.0%	+ 6.1%	9	6	△ 4	△40.1%	△44.8%	5.6%	2.9%
連結調整	△ 34	△ 37	△ 3	-	-	△ 1	0	1	-	-	-	-
カラー & ディスプレイ	288	662	375	+ 130.2%	+ 115.8%	30	38	9	+ 28.7%	+ 28.0%	10.4%	5.8%
日本	64	91	27	+ 42.3%	+ 42.3%	15	15	0	+ 0.1%	+ 0.1%	23.4%	16.4%
海外	241	610	369	+ 153.3%	+ 135.0%	15	24	9	+ 62.0%	+ 59.5%	6.1%	3.9%
連結調整	△ 17	△ 38	△ 21	-	-	0	△ 1	△ 1	-	-	-	-
ファンクショナルプロダクツ	666	742	75	+ 11.3%	+ 8.0%	76	66	△ 10	△12.9%	△15.2%	11.4%	8.9%
日本	479	520	41	+ 8.5%	+ 8.5%	47	43	△ 4	△8.6%	△8.6%	9.9%	8.3%
海外	255	295	39	+ 15.5%	+ 6.6%	30	23	△ 7	△23.6%	△29.2%	11.6%	7.7%
連結調整	△ 68	△ 73	△ 5	-	-	△ 1	0	1	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 76	△ 103	△ 28	-	-	△ 20	△ 21	△ 2	-	-	-	-
連結合計	1,903	2,510	607	+ 31.9%	+ 27.7%	140	117	△ 22	△16.1%	△13.3%	7.3%	4.7%
USD/円	106.17	117.03		+ 10.2%		106.17	117.03		+ 10.2%			
EUR/円	127.88	131.32		+ 2.7%		127.88	131.32		+ 2.7%			

※C&Eの業績はカラー & ディスプレイ セグメントに含まれている

パッケージング&グラフィック

売上高

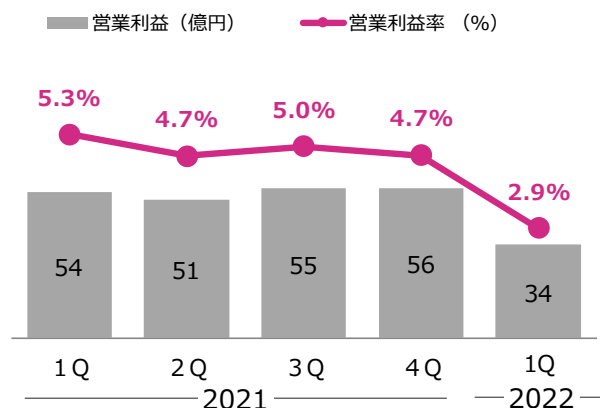
- 原料コスト増加に対する価格対応を進めた結果、増収。当社の印刷用インキの約7割を占めるパッケージ用インキは数量ベースでも前年を上回った

営業利益

- 各地域で価格対応に取り組んだが、原料コスト増加のスピードに追い付かず減益となった

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2021 1Q	2022 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021 1Q	2022 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021 1Q	2022 1Q
パッケージング&グラフィック	1,024	1,209	185	+ 18.0%	+ 15.7%	54	34	△ 20	△36.2%	△25.0%	5.3%	2.9%
日本	264	298	34	+ 12.9%	+ 12.9%	14	8	△ 6	△44.0%	△44.0%	5.1%	2.5%
米州・欧州	625	753	128	+ 20.5%	+ 18.7%	32	21	△ 11	△35.0%	△15.7%	5.2%	2.8%
アジア他	169	195	25	+ 15.0%	+ 6.1%	9	6	△ 4	△40.1%	△44.8%	5.6%	2.9%
連結調整	△ 34	△ 37	△ 3	-	-	△ 1	0	1	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品	増減比	説明
パッケージ用インキ*	+ 18%	各地域で価格対応を進めた結果、増収。ロックダウンにより出荷が停滞した中国は数量ベースで前年を下回った
出版用インキ*	+ 10%	日本はコロナ第6波の影響により需要が低迷し減収となったが、グローバルでは価格対応により増収
ジェットインキ	+ 11%	屋外広告（看板・ポスター）やバナーなどの産業用およびダイレクトメールなどの商業印刷用の出荷が好調
ポリスチレン	+ 38%	スーパーでの食品包装用の需要が落ち着いてきたが、価格改定による単価上昇により大幅な増収
多層フィルム	+ 14%	数量は前年並みだが、価格改定による単価上昇により増収

*現地通貨ベース増減比

カラー&ディスプレイ

売上高

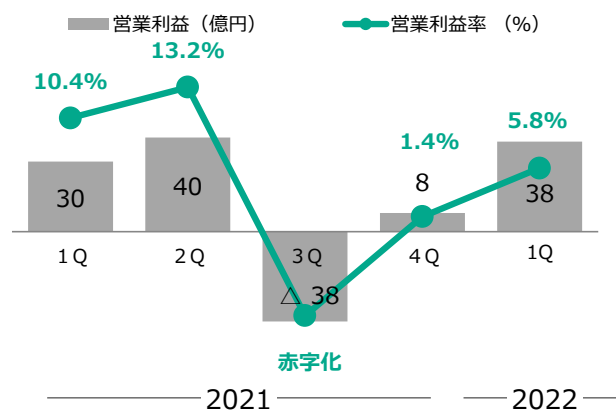
- C&E顔料事業が加わったことにより、特に塗料用、プラスチック用および化粧品用顔料が大幅な増収となった

営業利益

- C&E顔料事業は、物流体制に起因した出荷遅延が改善し黒字となった。グローバルで原料コスト増加の製品価格への転嫁も進み、増益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2021 1Q	2022 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021 1Q	2022 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021 1Q	2022 1Q
カラー&ディスプレイ	288	662	375	+ 130.2%	+ 115.8%	30	38	9	+ 28.7%	+ 28.0%	10.4%	5.8%
日本	64	91	27	+ 42.3%	+ 42.3%	15	15	0	+ 0.1%	+ 0.1%	23.4%	16.4%
海外	241	610	369	+ 153.3%	+ 135.0%	15	24	9	+ 62.0%	+ 59.5%	6.1%	3.9%
連結調整	△ 17	△ 38	△ 21	-	-	0	△ 1	△ 1	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品	増減比	説明
顔料		
塗料用	+ 270%	C&E顔料事業の売上が加わり増収。自動車塗料用を中心に堅調な出荷
プラスチック用	+ 360%	C&E顔料事業の売上が加わり増収
インキ用	+ 49%	C&E顔料事業の売上が加わり増収。パッケージ用インキ向け顔料が堅調に推移
化粧品用	+ 246%	C&E顔料事業の売上が加わり増収。欧米に続いてアジアでも需要回復が見られる
ディスプレイ用	△ 1%	顧客の在庫調整により、一時的に出荷停滞
スペシャリティ用	+ 59%	C&E顔料事業の売上が加わり増収
ヘルスケア食品	△ 29%	国内販売回復傾向だが、輸出の遅延により減収

カラー&ディスプレイ 補足資料

カラー&ディスプレイ業績内訳（億円）

	売上高				営業利益			
	2021 1Q	2022 1Q	増減	増減比	2021 1Q	2022 1Q	増減	増減比
カラー&ディスプレイ	288	662	375	+130.2%	30	38	9	28.7%
既存事業	288	305	17	-	30	24	△6	-
C&E	-	358	358	-	-	14	14	-

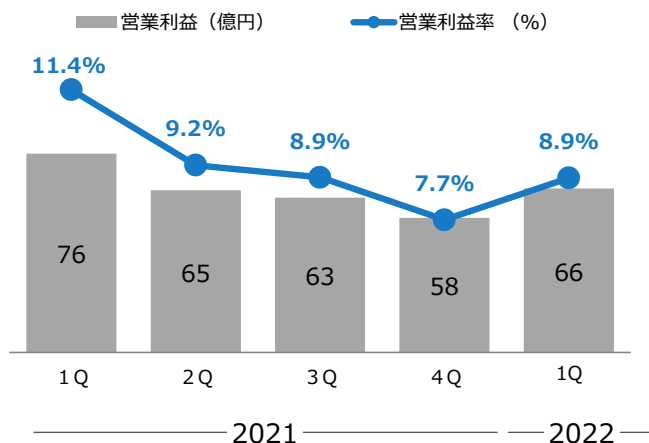
- C&E顔料事業は物流体制に起因した出荷遅延が改善し受注残の解消が進んだため、計画を上回る売上高となった
- カラー&ディスプレイセグメントでは、原料コスト増加の製品価格への転嫁は比較的タイムラグなく進んでいる
- 運賃やエネルギー価格の値動きを製品価格に付加する「サーチャージ制」をグローバルで導入し、4/1出荷分から適用予定

ファンクショナルプロダクツ

- 売上高** • 中国でのコロナ感染再拡大の影響により、一部製品の出荷に影響が見られたが、自動車やデジタル関連を中心に堅調な出荷が継続
- 営業利益** • 継続的な価格対応を行っているが、運賃、エネルギーおよび原料コスト増加に対する転嫁が追い付かず、減益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2021 1Q	2022 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021 1Q	2022 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021 1Q	2022 1Q
ファンクショナルプロダクツ	666	742	75	+ 11.3%	+ 8.0%	76	66	△ 10	△12.9%	△15.2%	11.4%	8.9%
日本	479	520	41	+ 8.5%	+ 8.5%	47	43	△ 4	△8.6%	△8.6%	9.9%	8.3%
海外	255	295	39	+ 15.5%	+ 6.6%	30	23	△ 7	△23.6%	△29.2%	11.6%	7.7%
連結調整	△ 68	△ 73	△ 5	-	-	△ 1	0	1	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品名	増減比
エポキシ樹脂	+ 9%
ウレタン樹脂	+ 7%
アクリル樹脂	+ 15%
水性樹脂	+ 17%
ポリエステル樹脂	+ 19%
UV硬化型樹脂	+ 14%

デジタル関連は、UV硬化型樹脂、工業用テープ、中空糸膜モジュールが好調に推移。自動車関連では一部の製品で自動車減産影響を受けたが、全体としては堅調に推移した

2022年度：通期の業績見通し

- 原料コスト増加への継続的な価格対応により、売上高を上方修正。営業利益据え置き

(億円)	2021	2022 見通し	増減比	現地通貨 ベース 増減比	前回見通し
売上高	8,554	10,400	+ 21.6%	+ 16.4%	9,500
営業利益	429	540	+ 25.9%	+ 23.0%	540
営業利益率	5.0%	5.2%	–	–	5.7%
経常利益	438	535	+ 22.3%		535
親会社株主に帰属する当期純利益	44	280	+ 541.4%		280
1株当たり純利益 (円)	46.12	295.81	–		295.81
EBITDA*1	690	880	+ 27.5%		880
設備投資・投融資	1,682	830	△50.6%		830
減価償却費・のれん償却額	381	440	+ 15.6%		440
平均レート					
USD/円	109.75	121.00	+ 10.3%		110.00
EUR/円	129.73	137.00	+ 5.6%		130.00

	2021	2022 見通し
ROIC*2	4.8%	5.1%
ネットD/Eレシオ *3	1.0倍	1.0倍
(ネットD/CLレシオ *4)	(47.6%)	(48.7%)
年間配当/株 (円)	100.0	100.0
配当性向	216.8%	33.8%

*1 EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益 + 法人税等合計 + 支払利息 - 受取利息 + 減価償却費 + のれん償却額

*2 ROIC：営業利益 × (1 - 実効税率28%) / (ネット有利子負債 + 純資産)

*3 ネットD/Eレシオ：ネット有利子負債 / 自己資本

*4 ネットD/CLレシオ：ネット有利子負債 / (ネット有利子負債 + 純資産)

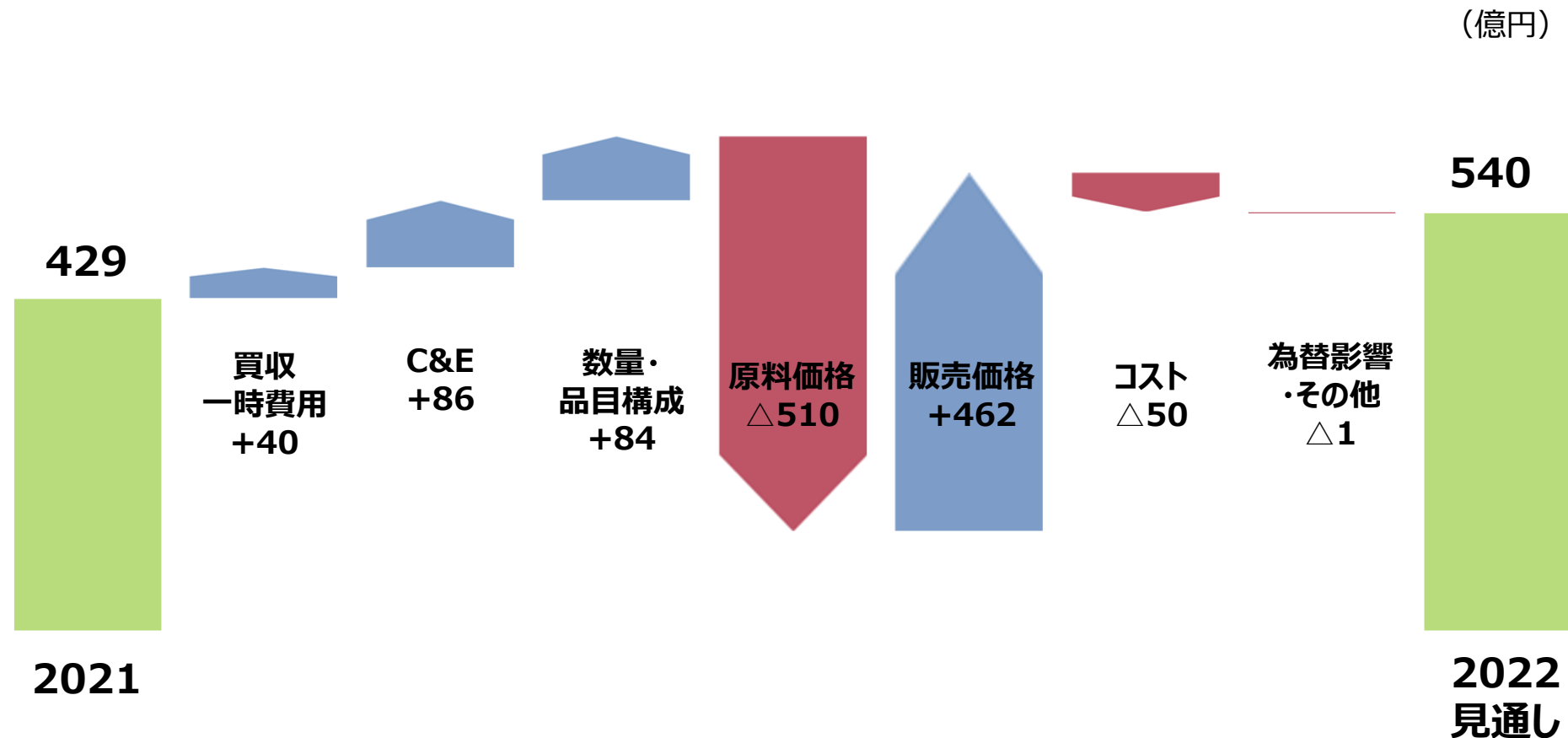
2022年度：上期の業績見通し

- 原料コスト増加への継続的な価格対応により、売上高を上方修正。営業利益は据え置き

(億円)	2021 2Q	2022 2Q見通し	増減比	前回見通し
売上高	3,918	5,100	+ 30.2%	4,650
営業利益	273	260	△4.8%	260
営業利益率	7.0%	5.1%	—	5.6%
経常利益	282	255	△9.7%	255
親会社株主に帰属する四半期純利益	160	140	△12.7%	140
1株当たり純利益 (円)	169.33	147.91	—	147.91
平均レート	USD/円	107.68	+ 10.5%	110.00
	EUR/円	129.63	+ 4.1%	130.00

2022年度：営業利益増減要因

- C&Eの売上高1,320億円、営業利益32億円（シナジー含む）を見込む
- 5月16日発表時点の前提となる原油価格（WTI）は\$ 100台。更なる原料コストの増加見込まれるが、引き続き価格対応に取り組み当初計画通りの営業利益を見込む



2022年度：通期のセグメント別業績見通し

- 原料コスト増加への継続的な価格対応により、売上高を上方修正。営業利益は据え置き

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2021	2022 見通し	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021	2022 見通し	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021	2022 見通し
パッケージング&グラフィック	4,398	5,054	656	+ 14.9%	+ 11.9%	216	240	24	+ 11.0%	+ 14.1%	4.9%	4.7%
日本	1,147	1,280	134	+ 11.7%	+ 11.7%	48	57	9	+ 17.6%	+ 17.6%	4.2%	4.5%
米州・欧州	2,651	3,052	402	+ 15.1%	+ 12.4%	132	138	6	+ 4.6%	+ 12.0%	5.0%	4.5%
アジア他	731	865	134	+ 18.3%	+ 9.1%	38	45	7	+ 19.2%	+ 10.9%	5.2%	5.2%
連結調整	△ 130	△ 144	△ 13	-	-	△ 2	△ 1	2	-	-	-	-
カラー&ディスプレイ	1,672	2,584	912	+ 54.6%	+ 41.9%	40	160	121	+ 305.1%	+ 283.2%	2.4%	6.2%
日本	326	365	38	+ 11.7%	+ 11.7%	69	72	3	+ 4.4%	+ 4.4%	21.1%	19.7%
海外	1,457	2,382	924	+ 63.4%	+ 48.3%	△ 28	88	116	黒字化	黒字化	-	3.7%
連結調整	△ 112	△ 162	△ 50	-	-	△ 2	0	2	-	-	-	-
ファンクショナルプロダクト	2,833	3,202	369	+ 13.0%	+ 8.7%	262	250	△ 12	△ 4.6%	△ 8.5%	9.2%	7.8%
日本	2,013	2,133	120	+ 6.0%	+ 6.0%	161	144	△ 17	△ 10.7%	△ 10.7%	8.0%	6.8%
海外	1,083	1,336	252	+ 23.3%	+ 11.8%	101	106	6	+ 5.5%	△ 4.8%	9.3%	7.9%
連結調整	△ 263	△ 267	△ 4	-	-	0	△ 0	△ 0	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 349	△ 441	△ 91	-	-	△ 89	△ 110	△ 21	-	-	-	-
連結合計	8,554	10,400	1,846	+ 21.6%	+ 16.4%	429	540	111	+ 25.9%	+ 23.0%	5.0%	5.2%
USD/円	109.75	121.00		+ 10.3%		109.75	121.00		+ 10.3%			
EUR/円	129.73	137.00		+ 5.6%		129.73	137.00		+ 5.6%			

主なトピックス（2022年1月～3月）

ニュースリリース
<https://www.dic-global.com/ja/news/2022/>

- 1月 イタリアの接着剤・ポリマメーカーSAPICI S.p.A.及びその持株会社を買収
- 2月 DIC九州ポリマが建築物のゼロエネ化を目指す『ZEB』認証の新事務棟を竣工
- 2月 新経営ビジョン及び長期経営計画「DIC Vision 2030」を発表
- 3月 日本を含む全地域において顔料製品に4月1日出荷分より「サーチャージ制」を導入
 - ・ 運賃やエネルギー価格は自助努力が困難な水準まで高騰
 - ・ 運賃については「輸送サーチャージ」、エネルギー価格については「エネルギーサーチャージ」とし、四半期ごとに見直すことを決定
- 3月 「健康経営優良法人 大規模法人部門（ホワイト500）」に5年連続で認定
- 3月 経済産業省「GXリーグ基本構想」への賛同を表明
- 3月 女性活躍推進企業として「なでしこ銘柄」に4年連続で選定
- 3月 ポジティブ・インパクトファイナンスの契約締結
- 3月 リサイクルに適したモノマテリアル（単一素材）包装材料に対応した製品ラインアップを拡充

事業セグメントと主要製品

2021年度実績数値

提供価値

パッケージング&グラフィック



売上高
4,398億円



営業利益・率
216億円
4.9%

包装材料を通じて社会や暮らしに「安全・安心」を提供する

カラー&ディスプレイ



売上高
1,672億円



営業利益・率
40億円
2.4%

表示材料を通じて社会や暮らしに「彩り」を提供する

ファンクショナルプロダクツ



売上高
2,833億円

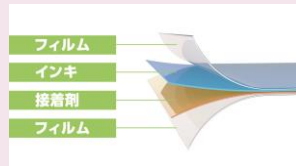


営業利益・率
262億円
9.2%

機能材料を通じて社会や暮らしに「快適」を提供する

主要製品

パッケージ用インキ



包装材料

←ポリスチレン
↓多層フィルム

接着剤



ジェットインキ



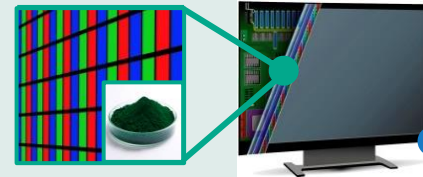
屋外看板用途



バナー用途



ディスプレイ用顔料



化粧品用顔料



スペシャリティ用顔料



農業用途



建材用途

天然系色素



塗料用顔料

プラスチック用顔料

インキ用顔料

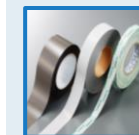


◆電気・電子やディスプレイを中心とするデジタル分野◆



UV硬化型樹脂

工業用テープ



エポキシ樹脂



中空糸膜モジュール



◆モビリティ（自動車など）を中心とする工業分野◆

水性樹脂
アクリル樹脂

ウレタン樹脂
ポリエステル樹脂

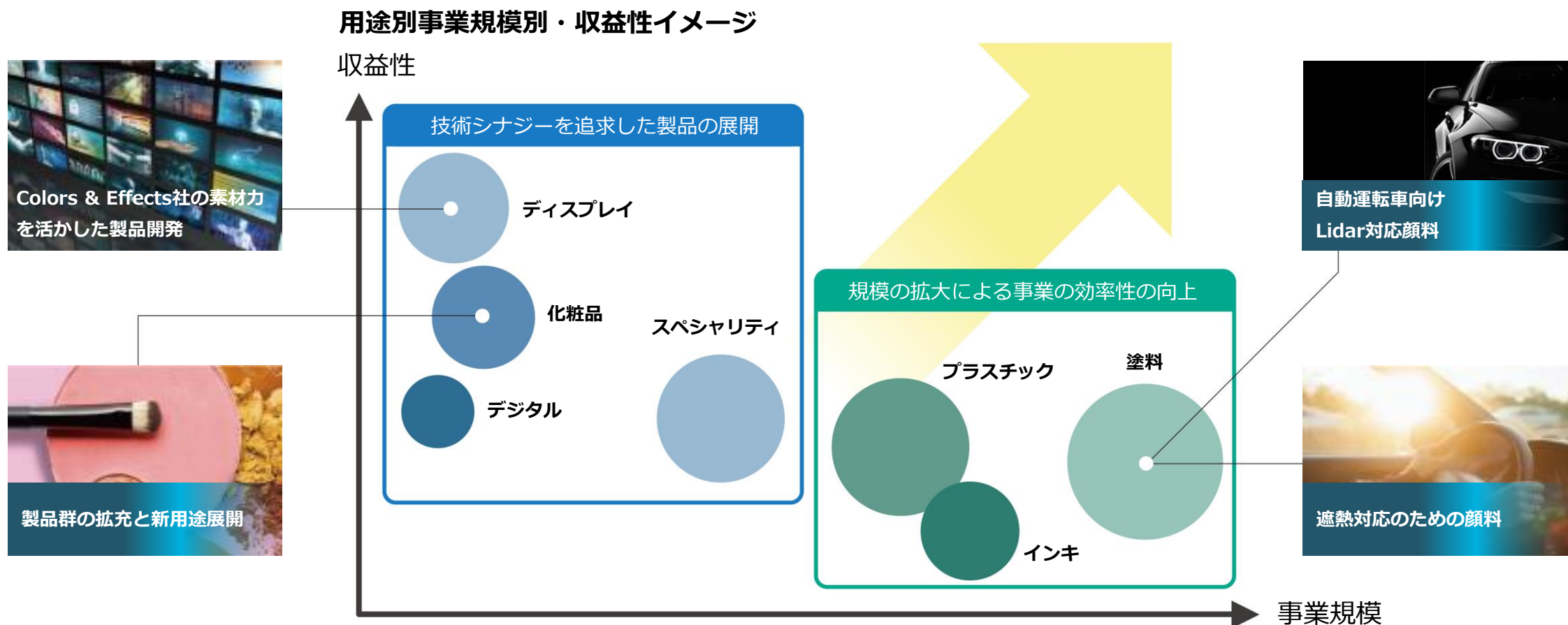
PPSコンパウンド



Colors & Effects 顔料事業との統合 (参考)

■ シナジー創出によりValue Transformationを加速

- 両社の保有技術・知的財産の融合による比類ない開発力で新製品を展開
- 規模の拡大による事業の効率性の向上



連結貸借対照表 (参考)

(億円)	2021 期末	2022 1Q末	増 減
流動資産	5,421	6,765	1,344
有形固定資産	3,077	3,354	277
無形固定資産	523	607	84
投資その他の資産	1,694	1,718	24
資産合計	10,715	12,444	1,730
流動負債	3,056	4,056	1,000
固定負債	3,849	4,383	534
負債合計	6,905	8,439	1,534
株主資本	4,039	4,063	24
その他の包括利益累計額 (為替換算調整勘定)	△ 580 (△ 555)	△ 395 (△ 346)	185 (209)
非支配株主持分	351	337	△ 14
純資産合計	3,810	4,005	195
負債純資産合計	10,715	12,444	1,730
有利子負債残高	3,842	5,205	1,363
現預金残高	383	1,234	852
ネット有利子負債	3,460	3,970	511

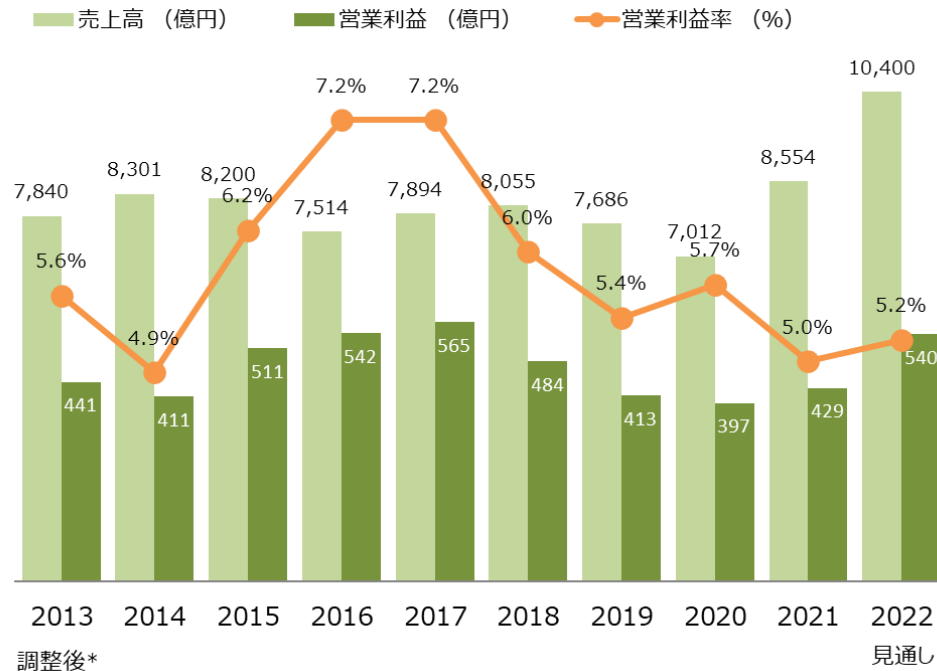
連結キャッシュ・フロー計算書（参考）

(億円)	2021 1Q	2022 1Q	増 減
営業キャッシュ・フロー	198	△ 80	△ 278
投資キャッシュ・フロー	35	△ 205	△ 240
財務キャッシュ・フロー	995	1,098	102
現金及び現金同等物の期末残高	1,671	1,226	△ 445
フリーキャッシュ・フロー	233	△ 285	△ 518
運転資本の増減額	68	△ 231	△ 299
設備投資・投融資	86	247	162
減価償却費・のれん償却額	81	113	32

注) 連結キャッシュ・フロー計算書は、レビュー対象外のため参考情報です。

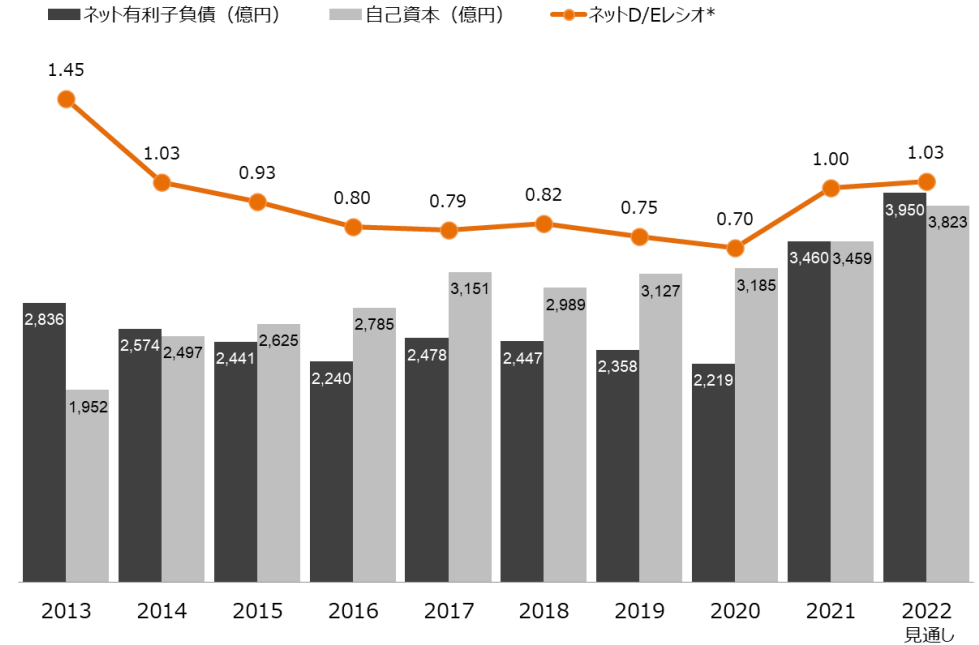
業績の推移 (参考)

業績



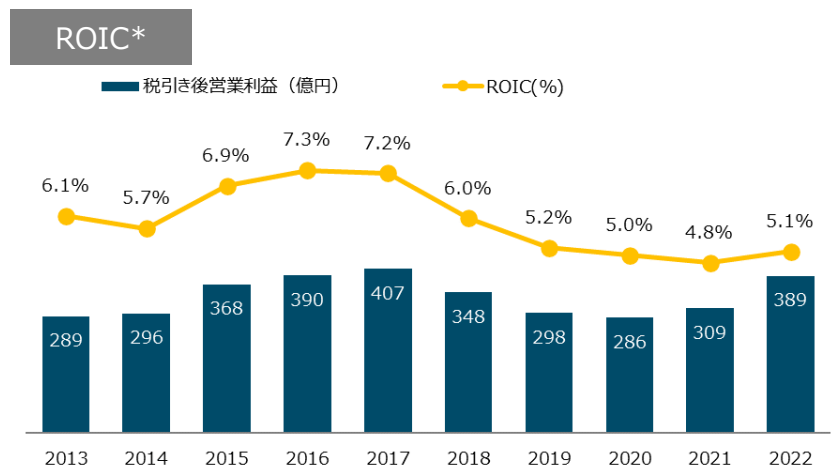
*決算期変更の影響を調整しています

財務体質

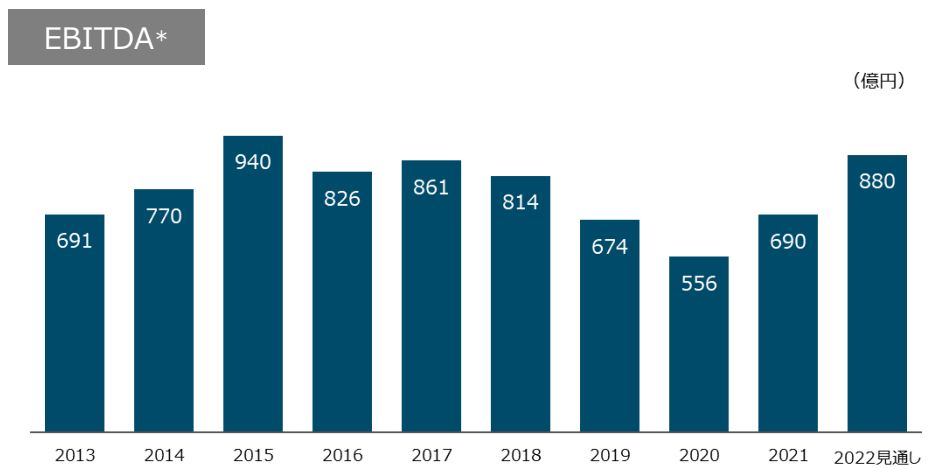


* ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債 / 自己資本

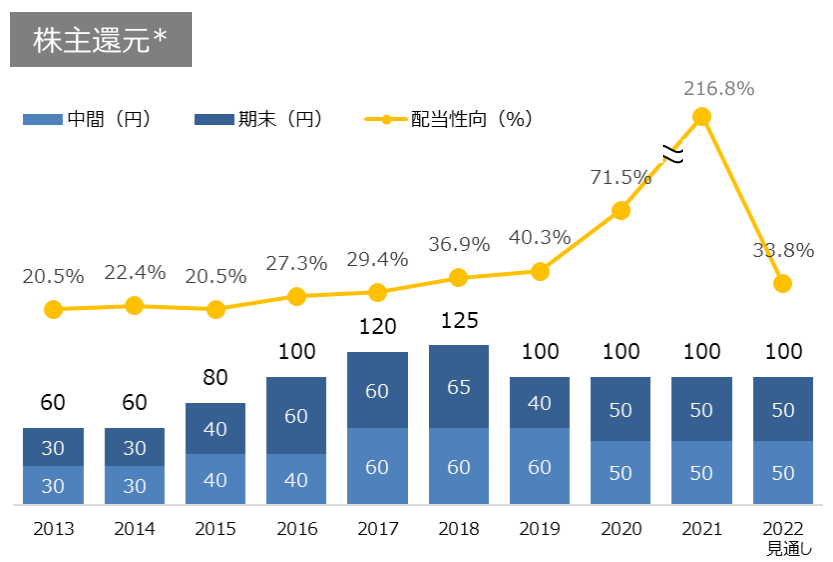
業績の推移 (参考)



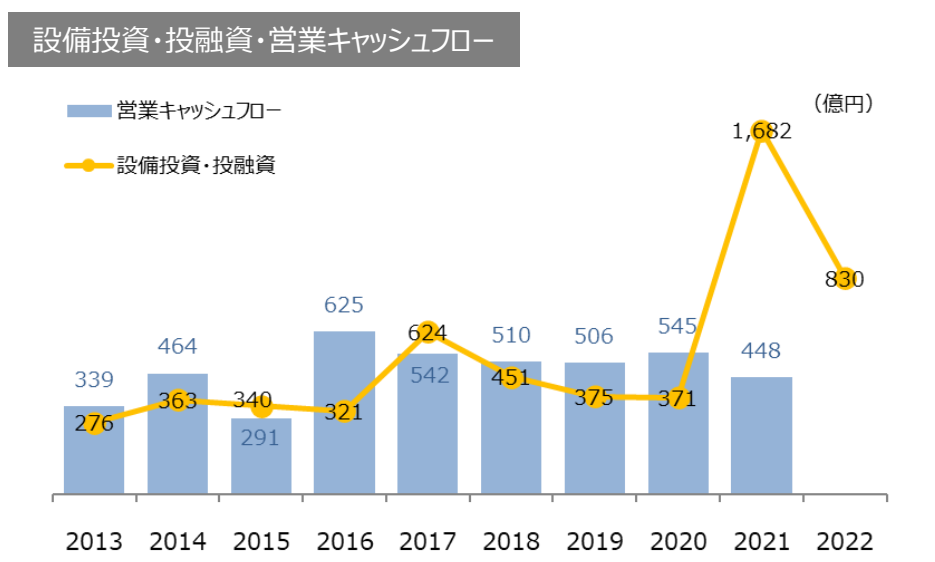
*ROIC : 営業利益 × (1 - 実効税率28%) / (ネット有利子負債 + 純資産) 見通し



*EBITDA : 親会社株主に帰属する当期純利益 + 法人税等合計 + 支払利息 - 受取利息 + 減価償却費 + のれん償却額



利回り (%)** 1.9 2.1 2.4 2.8 2.8 3.7 3.3 3.8 3.5



* 株式併合の影響を調整しています
 ** 配当利回り : 年間配当金/期末の株価終値

<予想に関する注意事項>

本資料は、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。
業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しですが、
実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。

本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、
当社は責任を負うものではありません。



Color & Comfort



DIC Corporation